

公園緑地工事共通仕様書 新旧対照表

現行条文(H24.10)							新条文(H29.10)																				
編	章	節	条	項	項以下	編集箇条 (項目見出し)	現行条文			編	章	節	条	項	項以下	編集箇条 (項目見出し)	新条文			改訂理由	理由補足						
		1	2			5.2.適用すべき諸基準	日本公園緑地協会 都市公園技術標準解説書(平成22年度版) (平成22年6月) 日本道路協会 道路土工一施工指針 (平成21年6月) 日本道路協会 道路土工要綱 (平成21年6月) 日本道路協会 道路土工一軟弱地盤対策工指針 (昭和61年11月) 日本道路協会 道路土工一盛土工指針 (平成22年4月) 日本道路協会 道路土工一切土工・斜面安定工指針 (平成21年6月) 日本道路協会 道路土工一擁壁工指針 (平成11年3月) 日本道路協会 道路土工一カルバート工指針 (平成22年3月) 日本道路協会 道路土工一仮設構造物工指針 (平成11年3月) 日本道路協会 道路土工一質調査指針 (昭和61年11月)	1	2			5.2.適用すべき諸基準	日本公園緑地協会 都市公園技術標準解説書(平成28年度版) (平成28年6月) 日本道路協会 道路土工一施工指針 (平成21年6月) 日本道路協会 道路土工要綱 (平成21年6月) 日本道路協会 道路土工一軟弱地盤対策工指針 (平成24年度版) (平成24年3月) 日本道路協会 道路土工一盛土工指針 (平成22年度版) (平成22年4月) 日本道路協会 道路土工一切土工・斜面安定工指針 (平成21年6月) 日本道路協会 道路土工一擁壁工指針 (平成24年度版) (平成24年3月) 日本道路協会 道路土工一カルバート工指針 (平成21年度版) (平成22年3月) 日本道路協会 道路土工一仮設構造物工指針 (平成14年3月) 日本緑研センター 植栽整備技術マニュアル 土木研究センター 補強土(テールアール)壁工法 設計・施工マニュアル (平成21年4月) 土木研究センター 補強土(テールアール)壁工法 設計・施工マニュアル (平成14年12月)													法令等の改正	
		1	2			12.適用すべき諸基準	国土交通省 建設副産物適正処理推進要綱 (平成14年5月) 建設省 都市緑化における下水汚泥の施用指針 (平成7年9月) 国土開発技術研究センター 河川土工マニュアル (平成5年6月) 土木研究センター 建設発生土利用技術マニュアル (平成16年9月) 全日本建設技術協会 土木構造物標準設計 第2巻 (平成12年9月) 地盤工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準・同解説 (平成12年3月) 全国特定法面保護協会 のり枠工の設計施工指針 (平成18年11月) 建設省 土木構造物設計マニュアル(案) [土木構造物・橋梁編] (平成11年11月) 建設省 土木構造物設計マニュアル(案)に係わる設計・施工の手引(案)[ボックスカルバート・擁壁編] (平成11年11月) 国土交通省 土木構造物設計マニュアル(案)[極門編] (平成13年12月) 国土交通省 土木構造物設計マニュアル(案)に係わる設計・施工の手引き(案)[極門編] (平成13年12月) 国土交通省 建設汚泥処理土利用技術基準 (平成18年6月) 国土交通省 発生土利用基準 (平成18年6月)	1	2			12.適用すべき諸基準	土木研究センター ジオテキスタイルを用いた補強土の設計施工マニュアル (平成25年12月) 土木研究センター 多数アンカー式補強土壁工法設計・施工マニュアル (平成26年8月) 国土交通省 建設副産物適正処理推進要綱 (平成14年5月) 建設省 都市緑化における下水汚泥の施用指針 (平成7年9月) 国土開発技術研究センター 河川土工マニュアル (平成24年度版) (平成21年4月) 土木研究センター 建設発生土利用技術マニュアル (平成24年度版) (平成25年12月) 全日本建設技術協会 土木構造物標準設計 第2巻 二種壁工 (平成12年9月) 地盤工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準・同解説 (平成25年5月) 全国特定法面保護協会 のり枠工の設計施工指針 (平成25年10月) 建設省 土木構造物設計マニュアル(案) [土木構造物・橋梁編] (平成11年11月) 建設省 土木構造物設計マニュアル(案)に係わる設計・施工の手引き(案)[ボックスカルバート・擁壁編] (平成11年11月) 国土交通省 土木構造物設計マニュアル(案)[極門編] (平成13年12月) 国土交通省 土木構造物設計マニュアル(案)に係わる設計・施工の手引き(案)[極門編] (平成13年12月) 国土交通省 建設汚泥処理土利用技術基準 (平成18年6月) 国土交通省 発生土利用基準 (平成18年6月) 国土交通省 東日本大震災からの復興に係る公園緑地整備に関する技術的指針 (平成24年3月)													法令等の改正	
		1	3	4		掘削工				1	3	4				掘削工	掘削工の施工については、第1編2-3-2及び2-4-2掘削工の規定による。										
										1	3	6				路体盛土工	路体盛土工の施工については、第1編2-4-3路体盛土工の規定による。				追加						
		1	3	6		路床盛土工				1	3	7				路床盛土工											
		1	3	7		法面整形工				1	3	8				法面整形工											
		1	3	8		路床安定処理工				1	3	9				路床安定処理工											
		1	3	9		置換工				1	3	10				置換工											
		1	3	10		サンドマット工				1	3	11				サンドマット工											
		1	3	11		バーチカルドレーン工				1	3	12				バーチカルドレーン工											
		1	3	12		残土処理工				1	3	13				残土処理工											
		1	5	7	1	人工地盤工	受注者は、防水の施工については、「 公共建築 改修工事標準仕様書(建築工事編)第3章防水改修工事 」の規定による。			1	5	7	1			人工地盤工	受注者は、防水の施工については、「 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)第3章防水改修工事 」の規定による。			表現の適正化							
		1	6	1	2	一般事項	2.受注者は法面の施工にあたって、「道路土工一切土工・斜面安定工指針のり面工編、斜面安定工編」(日本道路協会、平成21年6月)、「道路土工一盛土工指針5-6 盛土のり面の施工」(日本道路協会、平成22年4月)、「 のり枠工の設計・施工指針第5章施工 」(全国特定法面保護協会、平成15年3月)及び「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説第7章施工」(地盤工学会、平成12年3月)の規定による。これ以外の施工方法による場合は、施工前に設計図書に関して監督員の承認を得なければならない。			1	6	1	2				一般事項	2.受注者は法面の施工にあたって、「道路土工一切土工・斜面安定工指針のり面工編、斜面安定工編」(日本道路協会、平成21年6月)、「道路土工一盛土工指針5-6 盛土のり面の施工」(日本道路協会、平成22年4月)、「 のり枠工の設計・施工指針第8章吹付枠工、第9章プレキャスト枠工、10章現場打ちコンクリート枠工 」(全国特定法面保護協会、平成25年10月)及び「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説第7章施工」(地盤工学会、平成24年5月)の規定による。これ以外の施工方法による場合は、施工前に設計図書に関して監督員の承認を得なければならない。			法令等の改正						
		1	8	1	1	一般事項	1.本節は、擁壁工として作業土工、場所打擁壁工、ブレキヤスト擁壁工、補強土壁工、コンクリートブロック工、石積工、土留め工その他これらに類する工種について定める。			1	8	1	1			一般事項	1.本節は、擁壁工として作業土工(深掘り・埋戻し)、場所打擁壁工、ブレキヤスト擁壁工、補強土壁工、コンクリートブロック工、石積工、土留め工その他これらに類する工種について定める。			表現の適正化							

公園緑地工事共通仕様書 新旧対照表

現行条文(H24.10)					新条文(H29.10)					改訂理由	理由補足			
編	章	節	条	項	編	章	節	条	項					
				項目以下					項目以下					
	1	8	1	2	一般事項	2. 受注者は、擁壁工の施工にあたっては、「道路土工ー擁壁工指針 2-5・3-4 施工一般」(日本道路協会、平成11年3月)及び「土木構造物標準設計第2巻解説書4、3施工上の注意事項」(全日本建設技術協会、平成12年9月)の規定による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	1	8	1	2	一般事項	2.受注者は、擁壁工の施工にあたっては、「道路土工ー擁壁工指針 5-11・6-10 施工一般」(日本道路協会、平成24年7月)及び「土木構造物標準設計 第2巻解説書4、3施工上の注意事項」(全日本建設技術協会、平成12年9月)の規定による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	法令等の改正	
	1	8	3		作業土工(床掘り・埋戻し)	作業土工の施工については、第3編2-3-3作業土工の規定による。	1	8	3	作業土工(床掘り・埋戻し)	作業土工の施工については、第3編2-3-3作業土工(床掘り・埋戻し)の規定による。	表現の適正化		
	1	9	2		材料	受注者は、プレキャストカルバート工の施工に使用する材料は、設計図書によるものとするが記載なき場合、「道路土工ーカルバート工指針4-4使用材料、4-5許容応力度」(日本道路協会、平成年3月)の規定による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	1	9	2		材料	受注者は、プレキャストカルバート工の施工に使用する材料は、設計図書によるものとするが記載なき場合、「道路土工ーカルバート工指針4-4使用材料、4-5許容応力度」(日本道路協会、平成22年3月)の規定による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	法令等の改正	
	1	9	3		作業土工(床掘り・埋戻し)	作業土工の施工については、第3編2-3-3作業土工の規定による。	1	9	3	作業土工(床掘り・埋戻し)	作業土工の施工については、第3編2-3-3作業土工(床掘り・埋戻し)の規定による。	表現の適正化		
	2	2			適用すべき諸基準	日本公園緑地協会 都市公園技術標準解説書(平成22年度版) (平成22年6月) 日本緑化センター 公共用緑化樹木等品質寸法規格基準(案)の解説 (平成21年2月) 建設省 都市緑化における下水汚泥の施用指針 (平成7年9月) 日本道路協会 道路緑化技術基準・同解説 (昭和63年12月)	2	2			適用すべき諸基準	日本公園緑地協会 都市公園技術標準解説書(平成28年度版) (平成28年6月) 日本緑化センター 公共用緑化樹木等品質寸法規格基準(案)の解説 (平成21年2月) 建設省 都市緑化における下水汚泥の施用指針 (平成7年9月) 日本道路協会 道路緑化技術基準・同解説 (平成28年3月)	法令等の改正	
	2	3	1	3	一般事項	3. 受注者は、樹木の運搬にあたり枝幹等の損傷、 <u>はちくずれ</u> 等がないよう十分に保護養生を行わなければならない。	2	3	1	3	一般事項	3.受注者は、樹木の運搬にあたり枝幹等の損傷、 <u>鉢崩れ</u> 等がないよう十分に保護養生を行わなければならない。	表現の適正化	
	2	3	1	9	(9)	(9)受注者は、支柱の配置について、ぐらつきのないよう設置しなければならない。樹幹と支柱との取付け部は、杉皮等を巻き <u>しゅふなわ</u> を用いて動かぬよう結束するものとする。	2	3	1	9	(9)	(9)受注者は、支柱の配置について、ぐらつきのないよう設置しなければならない。樹幹と支柱との取付け部は、杉皮等を巻き <u>シユロ繩</u> を用いて動かぬよう結束するものとする。	表現の適正化	
	2	3	1	9	(10)	(10)受注者は、樹名板の設置について、 <u>支柱</u> 及び樹木等に視認しやすい場所に据え付けなければならない。	2	3	1	9	(10)	(10)受注者は、樹名板の設置について、 <u>添木</u> 及び樹木等に視認しやすい場所に据え付けなければならない。	表現の適正化	
	2	3	2		表2-1 枝張(葉張) (略称:W)	樹木の四方面に伸長した枝(葉)の幅をいう。測定方向により幅に長短がある場合は、最長と最短の平均値とする。なお、一部の突出した枝は含まない。葉張とは低木についていう。	2	3	2		表2-1 枝張(葉張) (略称:W)	樹木の四方面に伸長した枝(葉)の幅をいう。測定方向により幅に長短がある場合は、最長と最短の平均値とする。なお、一部の突出した枝は含まない。葉張とは低木の場合についていう。	表現の適正化	
	2	3	2		表2-3 枝	樹種の特性に応じた枝を保ら、徒長枝、枯損枝、枝折れ等の処理、及び必要に応じ適切な剪定が行われていること。	2	3	2		表2-3 枝	樹種の特性に応じた枝の姿を保ら、徒長枝、枯損枝、枝折れ等の処理、及び必要に応じ適切な剪定が行われていること。	表現の適正化	
	2	3	3		表2-4 (はふく茎 日本芝に適用)	はふく茎 (日本芝に適用)	2	3	3		表2-4 はふく茎	はふく茎	表現の適正化	
	2	3	3		表2-5		2	3	3		表2-5 		追加	
	2	3	3		表2-5 表2-5 その他地被類の品質規格表(案)	表2-5 その他地被類の品質規格表(案)	2	3	3		表2-6 表2-6 その他地被類の品質規格表(案)			
	2	3	3		表2-5 病害虫	発生がないもの。過去に発生したことのあるものについて、発生が軽微で、その痕跡がほとんど認められないよう育成されたものであること。	2	3	3		表2-6 病害虫	発生がないもの。過去に発生したことのあるものにあっては、発生が軽微で、その痕跡がほとんど認められないよう育成されたものであること。	表現の適正化	

公園緑地工事共通仕様書 新旧対照表

公園緑地工事共通仕様書 新旧対照表

現行条文(H24.10)					新条文(H29.10)					改訂理由	理由補足		
編	章	節	条	項	編	章	節	条	項				
項	以下	編集箇条 (項目見出し)	現行条文				項	以下	編集箇条 (項目見出し)	新条文			
3	4	2	1	JIS A 5364	JIS A 5364 (プレキャストコンクリート製品—材料及び製造方法の通則)	3	4	2	1	JIS A 5364	JIS A 5364 (プレキャストコンクリート製品—性能試験方法の通則)		
						3	4	2	1	JIS A 5365	JIS A 5365 (プレキャストコンクリート製品—検査方法の通則)	追加	
						3	4	2	1	JIS G 3470	JIS G 3470 (コルゲートセクション)	表現の適正化	
3	4	2	1	JIS G 3471	JIS G 3471 (コルゲートパイプ及びコルゲートセクション)	3	4	2	1	JIS G 3471	JIS G 3471 (コルゲートパイプ)	表現の適正化	
3	4	2	1	JIS K 6739	JIS K 6739 (排水用硬質塩化ビニル管継手)	3	4	2	1	JIS K 6739	JIS K 6739 (排水用硬質 赤 塩化ビニル管継手)	表現の適正化	
3	4	2	1	JIS K 6741	JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管)	3	4	2	1	JIS K 6741	JIS K 6741 (硬質 赤 塩化ビニル管)	表現の適正化	
3	4	2	1	JIS R 1201	JIS R 1201 (陶管)							削除	
3	4	4	4	4.受注者	4.受注者は、貯留施設のフィルター材の施工については、付近の土が混入しないようにしなければならない。							削除	
3	4	4	5	5.受注者	5.受注者は、着色を調整の施工については、設計図書に示された仕上がり高になるように施工しなければならない。							削除	
3	4	5		作業土工	3-4-5 作業土工(床掘り・埋戻し) 作業土工の施工については、第3編2-3-3作業土工の規定による。							削除	
3	5	2	1	JIS A 5506	JIS A 5506 (下水道用マンホールふた)							削除	
3	5	2	1			3	5	2	1	JIS G 3470	JIS G 3470 (コルゲートセクション)	表現の適正化	
3	5	2	1	JIS G 3471	JIS G 3471 (コルゲートパイプ及びコルゲートセクション)	3	5	2	1	JIS G 3471	JIS G 3471 (コルゲートパイプ)	表現の適正化	
3	5	2	1	JIS K 6739	JIS K 6739 (排水用硬質塩化ビニル管継手) JIS K 6743 (水道用硬質塩化ビニル管継手) JIS K 6777 (耐熱性硬質塩化ビニル管継手) JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管) JIS K 6776 (耐熱性硬質塩化ビニル管)	3	5	2	1	JIS K 6739	JIS K 6739 (排水用硬質 赤 塩化ビニル管継手) JIS K 6743 (水道用硬質 赤 塩化ビニル管継手) JIS K 6777 (耐熱性硬質 赤 塩化ビニル管継手) JIS K 6741 (硬質 赤 塩化ビニル管) JIS K 6776 (耐熱性硬質 赤 塩化ビニル管)	表現の適正化	
3	6	2	1	JIS C 3653	JIS C 3653 (電力用ケーブルの中地埋設の施工方法一波付硬質合成樹脂付属書1章)	3	6	2	1	JIS C 3653	JIS C 3653 (電力用ケーブルの中地埋設の施工方法一波付硬質合成樹脂管付属書1)	表現の適正化	
3	6	2	1	JIS C 8105-1~3	JIS C 8105-1~3 (照明器具—安全性要求事項 通達 ～性能要求事項 通達)	3	6	2	1	JIS C 8105-1~3	JIS C 8105-1~3 (照明器具—安全性要求事項～性能要求事項)	表現の適正化	
3	7	20		デッキ工	デッキ工の施工については、3-7-19公園橋工の規定による。	3	7	20		デッキ工	デッキ工の施工については、3-7-19公園橋工の規定によるものほか、設計図書によらなければならぬ。	表現の適正化	
3	7	21	2		2.視覚障害者誘導用ブロックの施工については、視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説第4章施工の規定による。	3	7	21	2		2.視覚障害者誘導用ブロックの施工については、視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説第4章施工(<u>日本道路協会、昭和60年9月</u>)の規定による。	表現の適正化	
3	7	21	3		3.視覚障害者誘導点字シートの施工については、視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説第4章施工の規定によるものほか、設計図書による。	3	7	21	3		3.視覚障害者誘導点字シートの施工については、視覚障害者誘導用ブロック設置指針・解説第4章施工(<u>日本道路協会、昭和60年9月</u>)の規定によるものほか、設計図書によらなければならぬ。	表現の適正化	
3	7	22		作業土工(床掘り・埋戻し)	作業土工の施工については、第3編2-3-3作業土工の規定による。	3	7	22		作業土工(床掘り・埋戻し)	作業土工の施工については、第3編2-3-3作業土工(床掘り・埋戻し)の規定による。	表現の適正化	
3	9	6		作業土工(床掘り・埋戻し)	作業土工の施工については、第3編2-3-3作業土工の規定による。	3	9	6		作業土工(床掘り・埋戻し)	作業土工の施工については、第3編2-3-3作業土工(床掘り・埋戻し)の規定による。	表現の適正化	
3	10	8		炊事場工	炊事場工の施工については、 <u>設計図書によらなければならぬ</u> 、3-10-4水飲み場工、3-10-7野外炉工の規定によるものとするほか、設計図書によらなければならない。	3	10	8		炊事場工	炊事場工の施工については、3-10-4水飲み場工、3-10-7野外炉工の規定によるものとするほか、設計図書によらなければならない。	表現の適正化	
3	13	3	9	表3-2 6.色押さえ	各発注 期間 の仕様による	3	13	3	9	表3-2 6.色押さえ	各発注 期間 の仕様による	表現の適正化	
4	2			運用すべき諸基準	日本公園緑地協会 都市公園技術標準解説書(平成22年度版) (平成22年6月)	4	2			運用すべき諸基準	日本公園緑地協会 都市公園技術標準解説書(平成28年度版) (平成28年6月)	基準等の改定	
4	2			運用すべき諸基準	日本道路協会 アスファルト舗装工事共通仕様書 解説 (平成22年1月)	4	2			運用すべき諸基準	日本道路協会 アスファルト舗装工事共通仕様書解説 (平成4年12月)	表現の適正化	
4	2			運用すべき諸基準	日本道路協会 道路土工一擁壁工指針 (平成11年3月)	4	2			運用すべき諸基準	日本道路協会 道路土工一擁壁工指針 (平成24年7月)	基準等の改定	
4	2			運用すべき諸基準	日本道路協会 舗装再生便覧 (平成22年12月)	4	2			運用すべき諸基準	日本道路協会 舗装再生便覧(平成22年度版) (平成22年12月)	表現の適正化	
4	2			運用すべき諸基準	日本道路協会 アスファルト混合所便覧(平成8年度版) (平成19年1月)	4	2			運用すべき諸基準	日本道路協会 アスファルト混合所便覧(平成8年度版) (平成8年10月)	表現の適正化	
						4	2			運用すべき諸基準	日本道路協会 透水性舗装ガイドブック2007 (平成19年3月)	基準等の追加	

公園緑地工事共通仕様書 新旧対照表

現行条文(H24.10)							新条文(H29.10)														
編	章	節	条	項	項以下	編集箇条 (項目見出し)	現行条文			編	章	節	条	項	項以下	編集箇条 (項目見出し)	新条文			改訂理由	理由補足
4	2				運用すべき諸基準	土木学会	コンクリート標準示方書(設計編)	(平成20年3月)		4	2				運用すべき諸基準	土木学会	コンクリート標準示方書(設計編)	(平成25年3月)		基準等の改定	
4	2				運用すべき諸基準	土木学会	コンクリート標準示方書(施工編)	(平成20年3月)		4	2				運用すべき諸基準	土木学会	コンクリート標準示方書(施工編)	(平成25年3月)		基準等の改定	
4	2				運用すべき諸基準	土木学会	コンクリートのポンプ施工指針	(平成12年2月)		4	2				運用すべき諸基準	土木学会	コンクリートのポンプ施工指針	(平成24年6月)		基準等の改定	
4	2				運用すべき諸基準	日本体育施設協会	屋外体育施設の建設指針 平成17年改訂版	(平成17年)		4	2				運用すべき諸基準	日本体育施設協会	屋外体育施設の建設指針 平成24年改訂版	(平成24年)		基準等の改定	
4	2				運用すべき諸基準	日本テニス協会	テニスコートの建設マニュアル	(平成7年)		4	2				運用すべき諸基準	日本テニス協会	テニスコートの建設マニュアル	(平成7年11月)		表現の適正化	
										4	2				運用すべき諸基準	日本体育施設協会	グラウンド・コート舗装施工指針 第2版	(平成26年1月)		基準等の追加	
4	3	2	10		表4-1 耐摩耗性	JIS K 7204				4	3	2	10		表4-1 耐摩耗性	JIS K 7204	テーパー摩耗試験機 (CS-17, 9.8N, 1000回)			表現の適正化	
4	3	2	10		表4-1 すべり抵抗	乾燥時 70~100 湿潤時 40~70	ASTM E303-66T			4	3	2	10		表4-1 すべり抵抗	乾燥時 40以上 湿潤時 (ボーラルスリップレジスタンステスター)	ASTM E303-66T (ボーラルスリップレジスタンステスター)			表現の適正化	
4	3	2	10		表4-1 反発弹性	反発性 0.65~0.80	TB反発係数=✓H/254			4	3	2	10		表4-1 テニスボールハウンド性	テニスボールハウンド性 0.65~0.80	TB反発試験			表現の適正化	
4	3	2	10		表4-1 促進耐候性					4	3	2	10		表4-1 耐候性:屋外暴露	耐候性:屋外暴露ひび割れ、チョーキング、退色など著しい劣化が生じないこと。一年間以上屋外直面に暴露または過去に施工された競技場やコートなどの劣化状況判断による。				表現の適正化	
4	3	2	10		表4-1 促進耐候性	促進耐候性 500時間暴露後も剥離・亀裂を生じない JIS A 1415WS型試験機				4	3	2	10		表4-1 耐候性:促進暴露	耐候性:促進暴露ひび割れ、チョーキング、退色など著しい劣化が生じないこと。JIS A 1415 WS-A型ウェザーメーター1000時間			表現の適正化		
4	3	2	10		表4-2 安定性	安定性 15~35kg				4	3	2	10		表4-2 安定性	安定性 15~35kg/cm ²				表現の適正化	
4	3	2	10		表4-2 安定性	復元性 65% 20°C 1時間				4	3	2	10		表4-2 安定性	復元性 60%以上 20°C 1時間(グースアフルト貫入試験)				表現の適正化	
										4	3	2	10		表4-2 耐候性:屋外暴露	耐候性:屋外暴露ひび割れ、チョーキング、退色など著しい劣化が生じないこと。一年間以上屋外直面に暴露または過去に施工された競技場やコートなどの劣化状況判断による。				表現の適正化	
										4	3	2	10		表4-2 耐候性:促進暴露	耐候性:促進暴露ひび割れ、チョーキング、退色など著しい劣化が生じないこと。JIS A 1415 WS-A型ウェザーメーター1000時間				表現の適正化	
4	3	2	10		表4-2 耐候性	安定性 15~35%				4	3	2	10		表4-2 耐候性	安定性 15~35kg/cm ²				表現の適正化	
4	3	2	10		表4-2 耐候性	復元性 65% 20°C 1時間				4	3	2	10		表4-2 耐候性	復元性 60%以上 20°C 1時間(グースアフルト貫入試験)				表現の適正化	
										4	3	2	10		表4-2 耐候性:屋外暴露	耐候性:屋外暴露ひび割れ、チョーキング、退色など著しい劣化が生じないこと。一年間以上屋外直面に暴露または過去に施工された競技場やコートなどの劣化状況判断による。				表現の適正化	
										4	3	2	10		表4-2 耐候性:促進暴露	耐候性:促進暴露ひび割れ、チョーキング、退色など著しい劣化が生じないこと。JIS A 1415 WS-A型ウェザーメーター1000時間				表現の適正化	
4	3	2	10		表4-3 すべり抵抗	乾燥時 70~100 湿潤時 40~70	ASTM E303-66T			4	3	2	10		表4-3 すべり抵抗	湿潤時 40以上 (ボーラルスリップレジスタンステスター)	ASTM E303-66T (ボーラルスリップレジスタンステスター)			表現の適正化	
4	3	2	10		表4-3 接着性	テニスボールハウンド性 0.65~0.80 TB反発試験 55~65 TB摩擦試験(注)										削除					
4	3	2	10		表4-3 耐摩耗性	JIS K 7204				4	3	2	10		表4-1 耐摩耗性	JIS K 7204 テーパー摩耗試験機 (CS-17, 9.8N, 1000回)				表現の適正化	
4	3	2	10		表4-3 接着性	0.29N/mm ² 以上(3kgf/cm ²) JIS A 6909				4	3	2	10		表4-3 接着性	0.30N/mm ² JIS K 6854(20°C)				表現の適正化	
4	3	2	10		表4-3 促進耐候性					4	3	2	10		表4-3 耐候性:屋外暴露	耐候性:屋外暴露ひび割れ、チョーキング、退色など著しい劣化が生じないこと。一年間以上屋外直面に暴露または過去に施工された競技場やコートなどの劣化状況判断による。				表現の適正化	
4	3	2	10		表4-3 促進耐候性	促進耐候性 500時間暴露後も剥離・亀裂を生じない JIS A 1415WS型試験機				4	3	2	10		表4-3 耐候性:促進暴露	耐候性:促進暴露ひび割れ、チョーキング、退色など著しい劣化が生じないこと。JIS A 1415 WS-A型ウェザーメーター1000時間				表現の適正化	
4	3	2	10		表4-4 硬度	硬度 20°C 40~75 70°C 20°Cの-10%以内	JIS K 6253			4	3	2	10		表4-4 促進耐候性	硬度 20°C 40~75 70°C 20°Cの-10%以内	JIS K 6253 デュロメーターア			表現の適正化	
4	3	2	10		表4-4 引張強度	引張強度 2.0N/mm ² 以上(20kgf/cm ²)				4	3	2	10		表4-4 引張強度	引張強度 2.0Mpa以上				表現の適正化	
4	3	2	10		表4-4 耐摩耗性	JIS K 7204				4	3	2	10		表4-4 耐摩耗性	JIS K 7204 テーパー摩耗試験機 (CS-17, 9.8N, 1000回)				表現の適正化	
4	3	2	10		表4-4 促進耐候性					4	3	2	10		表4-4 耐候性:屋外暴露	耐候性:屋外暴露ひび割れ、チョーキング、退色など著しい劣化が生じないこと。一年間以上屋外直面に暴露または過去に施工された競技場やコートなどの劣化状況判断による。				表現の適正化	
4	3	2	10		表4-4 促進耐候性	促進耐候性 500時間暴露後も剥離・亀裂を生じない JIS A 1415WS型試験機				4	3	2	10		表4-4 耐候性:促進暴露	耐候性:促進暴露ひび割れ、チョーキング、退色など著しい劣化が生じないこと。JIS A 1415 WS-A型ウェザーメーター1000時間				表現の適正化	
4	3	2	10		表4-4 下地との接着性	下地との接着性 20°C 50N/25mm以上 50°C 15N/25mm以上	JIS K 6854、90度剥離			4	3	2	10		表4-4 下地との接着性	下地との接着性 20°C 50N/25mm以上 50°C 15N/25mm以上 またはアスコン凝集試験	JIS K 6854、90度剥離 下地アスコン			表現の適正化	

公園緑地工事共通仕様書 新旧対照表